



# 学校だより

## 9月号

令和5年9月1日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

こころ およ  
心の「たい」が泳ぎだすように

校長 金澤 智美

38日間の夏休みが終わり、元気な子どもたちが学校に戻ってきました。夏休み前より少し大人っぽく成長した姿は、夏の日差しを浴びてまぶしく映りました。

「おもしろい作品ができたので、誰かに見せたい、知らせたい、聞かせたい」というような気持ちになりました。そんな、『～たい』という『たい』が心の中に泳いでいることが大切だと思うのです。」



夏休み明けのテレビ朝会では、夏季休業中に理科の研修で訪れたはまぎんこども宇宙科学館で教えていただいた作品を見せながら、話を始めました。マグネットシートを利用して、釣り竿の先でぴちぴち跳ねる「たい(鯛)」を模して作った作品です。

話は、さらに次のように続けました。

「『たい』とは、見たい、見せたい、知りたい、知らせたい、聞きたい、聞かせたい、やってみたい、はっきりさせたい・・・という心の動きのことです。そういう心で行動することを、『主体的』といいます。

どうですか？皆さんの心に『たい』は、泳いでいるでしょうか。あわてることはありません。今週は、準備運動をしながら、それぞれのペースで、心の『たい』が気持ちよく泳ぎだせるといいな、と思っています。

そして、今日から前期の後半になります。4月に立てた自分の目標や学級・学年の目標があったと思います。めざすゴールを確認してから、泳ぎ始めるといいですね。」

朝会を終えて、各教室を回ると、さっそく夏休みの作品の発表を行っている学級がありました。発表する子ども、聞き手となる子どもたちも、目を輝かせてやり取りをしている様子に、「『たい』がぴちぴち跳ねているな」と微笑ましく感じました。

「暑さ寒さも彼岸まで」。今月の後半には、きっと秋の気配が漂い始めることでしょう。豊かな実りの秋を迎えられるよう、学習活動の充実に努めてまいります。



50周年！ あいさつマスター ★ みんな輝き続ける洋三の子

